

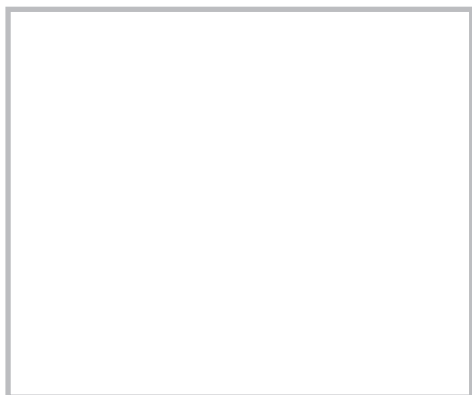


図 15.43 顔面毛包性紅斑黒皮症（北村）〔erythromelanosis follicularis faciei (Kitamura)〕
10 歳代女性。耳前部から頬にかけて毛孔一致性の角化性丘疹による紅斑性局面を認める。

5. 棘状苔癬 ^{きょく} lichen spinulosus

棘状の突起をもった毛孔性丘疹が集簇し、直径 2～5 cm の局面を形成する。若年者の頸部、殿部、腹部などに生じる。病理組織学的には毛孔性角化症と同一。原因不明であるが AIDS や Crohn 病などに続発した報告がある。

6. 黒色表皮腫 acanthosis nigricans ; AN ★

Essence

- 頸部や腋窩に、ザラザラした表面の黒褐色の局面をきたす疾患。
- 内臓悪性腫瘍（とくに胃癌）に合併する悪性型、肥満関連型、内分泌疾患に伴う症候型の 3 型に大別。
- 病理所見では、乳頭腫、過角化、基底層の色素沈着を特徴とし、基本的に表皮肥厚はない。

症状

項頸部、腋窩、^{さいか}臍窩、鼠径部などに、黒褐色のザラザラした乳頭状隆起をきたし、ビロード状あるいはおろし金状の外観を呈する（図 15.44）。内臓悪性腫瘍（とくに胃癌）を合併する悪性型（malignant AN）、肥満者にみられる肥満関連型（obesity-associated AN、以前は仮性型と呼ばれた）、高インスリン血症や SLE などを背景とする症候型（syndromic AN、良性型



図 15.44 黒色表皮腫 (acanthosis nigricans)